

食の安全性・安定提供に関する基礎及び応用研究

環境人間学部 有満 秀幸

キーワード

細菌学、食品衛生、特異抗体

研究概要

食の安全性や安定提供に影響を及ぼす、微生物学的な危害因子に関する基礎的及び応用研究を行っています。具体的にはポリクローナル抗体やモノクローナル抗体を使った細菌毒素の定量方法の確立、イムノクロマト法による家畜の迅速な感染症診断法や食品検査薬への応用を目指しています。またニワトリの卵黄に蓄積する抗体を“食べる抗体”として腸管感染症予防や治療に応用するための、安定に腸管へ送達するための投与方法の検討や、食品や加工機器等を汚染する微生物の殺菌方法の検討も行っています。殆どの研究テーマは学内外で共同研究として進めています。

アピールポイント

遺伝子組換え蛋白の作製、蛋白の精製を長年やっており、ワクチンや抗体作製の抗原にも応用してきました。解析は動物個体の反応から培養細胞、蛋白レベルの手法を用いて実施しています。

応用分野

ヒトや家畜の感染症診断や、食品衛生(食品検査、殺菌)など、ヒトの食の安全性や安定提供の分野での共同研究を実施しています。

